

2013.9.1

住民自らの心の備え

万一の復興視野に街づくり

大災害を想定し、復興しやすい環境を前もって整備しておく

「事前復興」――東日本大震災の被災地で復興が進まぬ実態から、その重要性が見直されている。都道府県だけでなく、地域でも住民が街づくりにこの考え方を採り入れ始めている。

▼1面参照

あすへの備え



あすへの備え

細い道に小さな家や工場が並ぶ。東京都葛飾区の堀切地区には約1万8千人が暮らす。3分の1は木造密集市街地で、地震で火災が起きると懸念されている。地区の自治会は5年前、

都や区、大学と協力し、被災後にどう復興させるかを考える訓練をした。「このままでは復興に大変な年数がかかる」。地区内で牛乳店を営む岩田益男さん(61)は訓練で街を歩き、痛感した。区画整理を阻む要素が目についた。小さな家が多く、土地と建物の所有者が違ふこともあ

る。区外の地権者は捜し当てるだけでもひと苦労だ。自治会は昨年、駅と公共施設を結ぶ道路を緊急車両

が出入りできるように拡張する「まちづくり構想」をまとめた。防災の意味もあるが、すぐに実行できなくとも、構想があれば被災後の素早い復興につながると考えた。

葛飾区も2年前、区画整

大槌町「頭の体操できているれば」

理の予定地を全国に先駆けで示した。区の担当者は「住民と行政が意思表示することで、復興時の方向性がぶれなくなる」と説明する。

区内では新宿区や世田谷区などの計36地区が事前復興に取り組み。南海トラフの巨大地震による津波被害が予想される四国でも、徳島県美波町の住民が被災後の高台移転計画を検討したり、高知県が沿岸部に住む住民と高台移転の意見交換をしたりしている。

みを支援する首都大学東京の「事前復興計画研究会」のメンバー、市古太郎・同大准教授(都市防災学)は「簡単な復興計画でも、後で生きてくることは十分ある。できることだけでも着手しておけば復興は早まる」と指摘する。(合田 裕、高橋 淳)

一方、東日本大震災の被災地では事前準備がほとんどなく、復興は難航。約1250人が津波で犠牲になった岩手県大槌町は今、高台移転と土地のかさ上げを検討しているが、用地交渉にあたる職員は「名義の書

き換えをせず何代も続いている土地もあり、事務作業は繁雑さを増している。「湧水の町」として知られた町内の地区では、土地のかさ上げで井戸を埋め立てることになり、心の準備がない中でショックを受ける住民も多かったという。

町は3日から、町外避難者にも意見を聞く。碓川豊町長は「せめて事前に頭のトレーニングができていれば、復興のスピードも違っていた」と打ち明ける。

その後、「事前復興」が注目されたのは1995年の阪神大震災。復興計画の柱だった区画整理事業が、一部地権者との交渉が難航するなど、兵庫県の全18地区で終えるのに16年もかかったからだ。東京都や大阪府などで次の震災への危機感が高まり、事前復興の取り組みが始まった。地域の事前復興の取り組み

緊急対策や応急復旧にとどまらず、本格復興までを視野に、被災前から住民や自治体の手引を準備したり、復興の方針を示したりすること。明確な定義はないが、あらかじめ被災後を考えることで、施設の高台移転や耐震化など、減災にもつながるとされる。

都府県名	策定時期	内容	
栃木	2012年5月	職員向けの行動指針、手順	
東京	①01年5月	①復興まちづくりの構想や課題	
	②03年3月	②職員の行動手順	
神奈川	05年3月	職員向けの行動指針、手順	
静岡	13年4月	津波の来ない内陸地域の開発による減災	
愛知	①12年4月	①職員の行動指針	
	②13年3月	②復興計画の素案	
大阪	06年1月	復興都市づくりの指針、留意点	
和歌山	12年3月	職員向けの行動指針、手順	
準備中	山梨	3年後をめど	今年8月、検討開始
	三重	未定	職員の勉強会を開催
	広島	来年度中	職員の手順書を作成中



航空写真の上に仮設住宅の模型を置いて、配置を考える自治体職員ら
＝市古太郎・首都大学東京准教授提供

阪神後取り組み

90年前の関東大震災も、事前復興の素地があった。震災前、東京市長だった後藤新平は、街路や公園整

備などを盛り込んだ近代化を計画。震災後に内務大臣に就任すると、実行に移した。計画は縮小されたが、30平方キロで区画整理を実施した。ただ、計画の対象外の地域で木造密集地が広がり、災害のリスクが増すなど、負の遺産も残した。

「阪都」ダメ出し

義で改名迫る

呈した。維新は、都構想が争点する堺市長選(9月29日投開票)で別に全力を注ぐが、石原氏の発議選挙戦に影響を与えかねない。

執行役員会は、堺市長選の応援態勢などを話し合った。橋下氏は公務のために欠席した。石原氏は、日本に「都」は複数いらぬとの理由から「大阪都」の名称変更を迫ると、松井一郎幹事長が「今から名前を変えるわけにはいかない」などと拒否したという。